

令和3年度
事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会
指定障がい福祉サービス 愛泉園
(生活介護事業)

1. 総括

令和3年度も新型コロナウイルスが大きな影響を及ぼす社会情勢の中、利用者、職員への感染防止の為に衛生用品の確保や空気清浄機の増設、飛沫防止など出来る対策を強化する一方で、1月町内での感染者急増を受け、24時間型グループホーム重度利用者への感染防止対策として法人コロナ対策マニュアルに基づき「レベル3」対応を発動し、1か月強の期間、職員をグループホームへ派遣するなどの対応を法人各事業所と協力して行い一人の感染者を出すことなく運営することができました。

日常的な施設運営では日課や行事に関しても変更や中止などによりリスクの低減をはかりながらの一年でした。そのため、楽しみにしていた家族会との合同収穫祭などは実施できませんでしたが、利用者主体の野外活動を実施するなど創意工夫に努めてまいりました。

また、事業関係では国立博物館「ウポポイ」もコロナの影響で閉館や店舗を一時閉店するなどにより、オリジナルアイヌ文様製品の売上げが低迷することもありましたが、経費等の支出を抑えながら着実な工賃財源につなげることができました。製品の売上げベースでは昨年度並みではありますが、期末手当の支払も含め過去最高の工賃還元率となっています。

利用者動向として9月より利用者1名が新規契約となり、現在26名の在籍者数となりました。個々の障害支援区分の見直しが進み、区分5~6の割合が約7割と重度化が進んでいます。平均区分値は5.0となっています。このような状況であることから、重度支援体制の充足を目的に職員の支援スキルの向上及び強度行動障害支援における研修強化も並行して進めてきました。その他、利用者の就労活動では1名が白老町内の企業で職場体験実習を継続し一般就労に向けて経験を積んでおります。

環境面では、ウォーキングや野外活動のエリア整備を進め一昨年園舎南側の松林を伐採し手作りのブランコなどを設置し楽しめる空間に今年度はさらに芝生の整備を進め、安全安心したくつろげる空間になるよう整備を進め、利用者の健康増進と新型コロナ感染防止に取り組んでおります。

老朽化における愛泉園建物の白老市街建設計画は、理事会の承認を受け、日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」に応募しましたが、残念ながら不採択となりました。設計会社SAデザインオフィスの無償協力や白老町行政等、多くの方にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。愛泉園の建設につきましては、新型コロナにおける資材高騰及びウクライナ情勢による木材の高騰などもあり、令和4年度の国庫補助申請を行わず、令和5年度の申請を目指し準備を進めて行くこととし、利用者、地域、SDGs等価値ある事業企画を目指していきたいと考えております。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」については、総数約6,000個、総額370,635円の売上げがありました。定期購入の個人売上げや大口取引先の宿泊施設への納品が継続されております。

委託業務である新聞たたみの作業については、利用者のペースで安定的に行うことができる軽作業として定着しており、年間売上180,000円の工賃財源につながっています。生産活動全体としては総額5,126,705円を計上しました。

尚、クリエイティブ班による「文様事業」では、国立アイヌ民族博物館（ウポポイ）がオープン2年目を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出されるなど終息せず、閉館や来場者減により売上の昨年の実績並みに留まっています。そのため、「Tシャツ」「パーカー」「タンブラー」「トートバッグ」「缶バッジ」等の製造調整を実施しながら、利用者活動と工賃財源の確保に取り組んできました。イレンカ単体の売上げは2,038,062円、同じく白老駅北の白老観光協会運営の「ポロトミンタラ」

では 263,049 円の売り上げとなっています。町内の宿泊施設等 4 か所に依頼して設置しているカプセルトイレ（ガチャガチャ）の売り上げが 130,500 円を計上。

他に、札幌のデザイン会社との共同開発により、全道展開しているガソリンスタンドのホクレン SS にて「ライダーに配るフラッグ」が完成し、web 抽選により配布されています。



【ななかまどイレンカでの委託販売】

【ホクレン SS】

〈療育活動〉

本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。敷地内をウォーキング、野菜や果物の収穫、ゲーム機を使用したダンスなどを行い個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有化を図り助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種活動を行う中で、仲間達と喜びを共有してもらえよう努めました。



【忘年会】



【新年会】



【ハロウィーン】

〈農耕作業〉

今年度は害獣被害によりトウモロコシやシャインマスカットは「アライグマ」による被害で全滅するなど大きな影響が出ています。そのような中、4年前に家族の会と実施した果樹の植樹事業で植えられたスモモの苗木が成長し、沢山の实を付け利用者のおやつや、ご近所野菜市での販売につなげることができました。収穫された野菜や果樹は共生型事業所におけるご近所野菜市や「ななかまど」での販売を行い、383,110 円の売上げがありました。一部は給食の食材として、また、行事等でも使用することで、利用者に新鮮な野菜の提供を可能にし、さらに栽培から消費までを一貫して体験したことが、利用者の笑顔につながったことと思います。カシスについては、地元のホテルとの取引の他、ジャムとして加工も試行し販売も行いました。

また、カシスの挿し木による作付面積を拡張し、近い将来愛泉園利用者の資産となるよう育てています。重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めております。

(生産実績) 園内耕地 とうもろこし、シャインマスカット、ブルーベリー、桃、トマト、大根、ほうれん草、カボチャ、枝豆、オクラ、にんにく、小松菜、長ネギ、じゃがいも、ニラ、秋田フキ、行者ニンニク、大葉、サニーレタス、春菊、ピーマン、プラム、カシス、藍 (〇〇〇は害獣被害により収穫減の作物)

〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

活動内容や貢献度によって日額 150 円、200 円、300 円、500 円の工賃を支給し、26 名の利用者に対して総額 2,048,377 円 (1 人平均年 78,784 円) を工賃として還元できました。

4. 職員研修

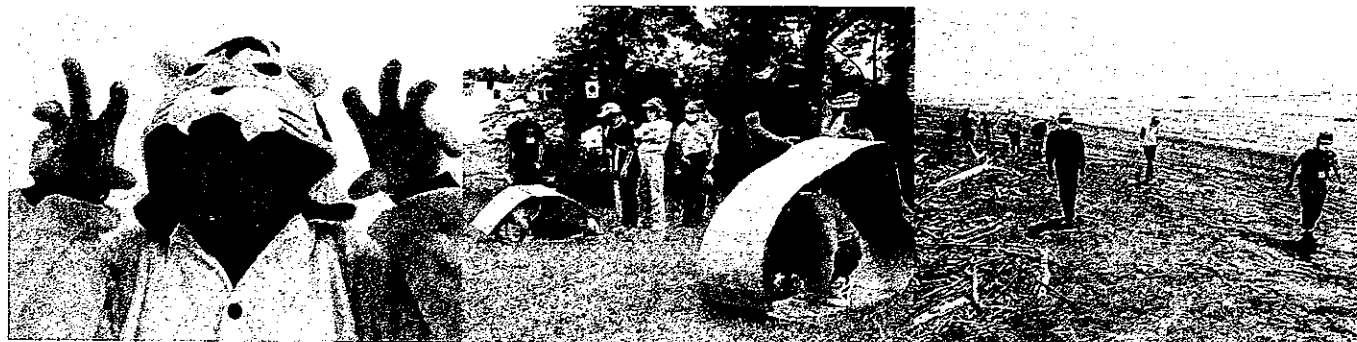
新型コロナの感染防止のため、外部への研修は中止し、ウェーブを活用した研修を実施しております。しかし、愛泉園は光回線がないため十分な研修実施には至っていません。今後も本部の設備を活用しながら研修の充足を目指していきます。

(*愛泉園敷地内に令和 4 年 10 月に楽天モバイルの電波塔が設置予定の為、オンライン環境が改善する見込み)

5. 余暇活動支援

新型コロナ感染防止を意識した内容の変更と工夫により各種余暇活動の充足を目指し、実施しました。主な取り組みは、月例行事として本人の誕生日に「愛泉園家族の会」の協力を得てプレゼントを用意し皆でお祝いを行いました。年間行事では、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り、ハロウィンパーティなど季節的な催しの他に、夏にはミニ運動会的な「アイセンピック」を実施。日中活動においては「しめなわ作り」など、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙いつつ、思い出に残るような行事を行いました。

その他の屋内外の行事として、調理体験教室(菓子づくりなど)ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊への日帰り外出、大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【年賀状用コスプレ】

【夏季アイセンピックの様子】

【白老浜散策】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

緊急時の連絡網として〔LINE〕での情報交換を日頃から活用し、緊急時に対応できるよう努めてきた。また、事故防止のためのヒアリング案件を毎月探し出し、職員へ周知しながら事故防止への意識を高めるとともに、他事業所へも運営会議を通じて周知してきた。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかったが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かしております。

9. 保健医療支援

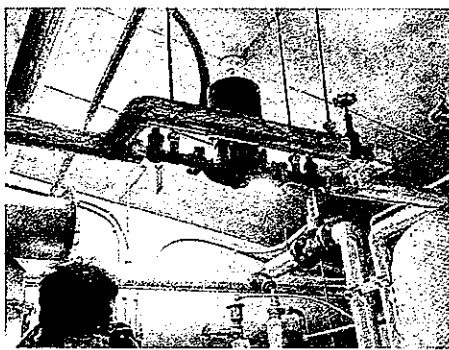
健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種の実施、新型コロナウイルス予防接種の3度実施、感染防止強化による手指の消毒、加湿、換気、空気清浄などを重点的に実施した。また、園内の手すりやドアノブの消毒、公用車内の消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行った。

10. 管理業務

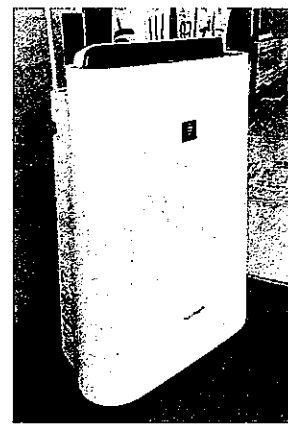
予算の適正な執行と経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。8月には新型コロナ対策の一部として空気清浄機を19台購入。厳寒期における凍結事故により調理場の配管破裂による影響と、経年劣化もあり床も7月に張り替えた。11月には経年劣化によるボイラー室の循環ポンプ破損による水漏れが発生。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練を実施した。



【厨房床 張替え】



【ボイラー室 水漏れ】



【空気清浄機購入】

令和3年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会 議・研 修 内 容		保健衛生・検査・その他等
4月	辞令交付及び永年勤続表彰式(1日) 誕生会(16日) 水芭蕉見学第1班(14日) 水芭蕉見学第2班(15日) 水芭蕉見学第3班(16日)	施設長会議(5-23日) 法人運営会議(23日)	職員会議(14日) 支援会議(28日) ゆからモニタリング(5日)	精神科嘱託医往診(8日) 三連棟ホブリへ移動(9日) 利用者工賃支給(10日) 水質検査・検便検査(14日)
5月	さくら見学(1日) 避難訓練/地震想定(20日) 誕生会(28日)	施設長会議(11日) 事務部会(14日) 内部監査(19日) 法人運営会議(21日) 審判理事会(26日)	職員会議(12日) 支援会議(26日) ゆからモニタリング(7日)	利用者工賃支給(10日) 水質検査・検便検査(12日) 精神科嘱託医往診(13日) 公用車車検(21日)
6月	誕生会(14日) 屋内行事(24日)	ゆからモニタリング(3日) 施設長会議(7日) 理事会・評議員会(16-23日) 法人運営会議(18日)	職員会議(10日) 定時評議員会(11日) 支援会議(23日) 野菜市出展者会議(24日)	バス車検(5日) 水質・便検査(9日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(10日) 新型コロナワクチン接種(8・22-29日)
7月	誕生会(12日)	施設長会議(9日) 法人運営会議(16日) 事務部会(26日)	室間市区分認定調査(5日) ゆからモニタリング(9日) 職員会議(15日) 苫小牧市区分認定調査(26日) 支援会議(28日)	精神科嘱託医往診(8日) アルソック消防設備点検(8日) 利用者工賃支給(9日) あぶろ新任職員見学(12日) 新型コロナワクチン接種(13日) 調理場床工事(13~19日) 水質・便検査(14日)
8月	野菜市販売(3・7・14・17・21・24日) 誕生会(20日) 夏のアイゼンピック(27日)	施設長会議(6日) 臨時理事会(11日) 川沿会議(17日) 法人運営会議(20日)	ゆからモニタリング(4, 5日) 八島さん聞き取り(5日) 職員会議(6日) 登別市聞き取り(13日) 施設長江差福祉会出張(18日) SAデザイン事務所打ち合わせ(24日) 支援会議(25日)	バス点検・修理(7日) 利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日) 精神科嘱託医往診(12日)
9月	収穫祭(15日) 誕生会(27日)	施設長会議(6日) 法人運営会議(17日) 理事会(22日) 前期モニタリング(22・24日) 川沿会議(27日) 事務部会(29日)	ゆからモニタリング(3日) 職員会議(6日) 内部監査(15日) 豊高町視察(16日) 日本財団関係打ち合わせ(17日) SAデザイン事務所打ち合わせ(18日) 支援会議(22日) 外部監査(29日)	水質・便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日) バス3ヶ月点検(27日)
10月	野菜市最終日(1日) 果物狩り(5・6日) ハロウィーン(29日)	施設長会議(11日) 法人運営会議(22日)	札幌建築事務所出張(7日) 施設長・主任Web研修(13日) 職員会議(15日) 支援会議(27日) 施設長栗沢福祉社出張(29日)	利用者工賃支給(8日) 水質・便検査(13日) 精神科嘱託医往診(14日) インフルエンザ予防接種(21日) 事業所説明会(26日)
11月	白老町文化祭作品搬入(1日) 白老町文化祭作品搬出(3日) 誕生会(12日) 避難訓練/火災想定(25日)	あぶろ運営会議(1日) あぶろ会議(4日) 施設長会議(12日) 川沿会議(16日) 法人運営会議(19日) 事務部会(26日)	役場毎バッチ納品(4日) ゆからモニタリング(11日) 室間市区分認定調査(10日) 職員会議(11日) 権利擁護研修(18日) 外部監査(22日) 支援会議(25日)	あぶろ新任職員見学(2日) 水質・便検査(10日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(11日)
12月	忘年会(16日) 誕生会(16日)	ゆからモニタリング(3日) 施設長会議(6日) 理事会・評議員会(15日) 法人運営会議(17日)	内部監査(8日) 職員会議(8日) 施設長札幌出張(9・24日) 支援会議(22日)	電気メーター点検(3日) 水質・便検査(8日) 精神科嘱託医往診(9日) 利用者工賃支給(10日) 事業所説明会(22日)
1月	新年会(7日) 誕生会(7日)	施設長会議(7日) 法人運営会議(14日)	職員会議(12日) 支援会議(26日)	利用者工賃支給(7日) 水質・便検査(12日) 精神科嘱託医往診(13日) アルソック防火設備点検(24日)
2月	節分(3日) バレンタインデー(14日) 誕生会(25日)	後期モニタリング会議(4・7・14日) 施設長会議(4日) 法人運営会議(18日)	ゆからモニタリング(3・4・8・10日) 職員会議(9日) 支援会議(24日) 八島さん聞き取り(24日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(9日) 新型コロナワクチン接種3回目(10・17日) アルソックセンサー交換(21日)
3月	ひなまつり(3日) ホワイトデー(14日) 誕生会(25日)	施設長会議(4日) 理事会・評議員会(16日) 法人運営会議(18日)	ゆからモニタリング(1日) 小笠原さん聞き取り調査(7日) 内部監査(9日) 職員会議(9日) 支援会議(24日)	水質・便検査(9日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(10日) 浄化槽点検(15日) バス3ヶ月点検(25日)